

令和3年度 向島東中学校教育

1. 教育目標

『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』

2. 目指す生徒像

『「愛」^{あい}と「学」^{まなび}と「志」^{こころざし}をもった生徒』

生徒に付けたい資質・能力

「愛」	○人を大切にする力	～人権感覚を養い、人権を尊重する態度～
	○地元を愛する力	～向島東地域に誇りと自信を持つ～
「学」	○学びに夢中になる力	～学びに没頭し、教科のもつ魅力を楽しむ力～
「志」	○コミュニケーション能力	～目標達成のための関わり合い～
	○自己指導能力	～キャリアデザインから夢に向かう力 自律・自立と自己変革～

3. 目指す学校像

『笑顔あふれる学校』

- すべての人の人権が守られた、安心・安全な学校
- 社会の規範を遵守した学校
- 保護者・地域と強い信頼関係で結ばれた学校
- 生徒が、誇りを持てる学校
- 教職員自身が、自分の子どもを通わせたい学校

4. 目指す教職員像

『深い生徒理解と自己変革ができる教職員』

- 教育に携わる者としての志と責任感をもった教職員
- 一人ひとりの生徒の内面や背景をしっかりと理解し、「生き方に迫る指導」をする教職員
- 謙虚に他者の意見にも耳を傾け、自らの姿勢を厳しく見つめ直し成長する教職員
- 生徒にとって「社会で生きていくためのモデル」となる教職員
- 本校の実態をしっかりと把握し、その課題の解決に向けて「チーム」として協働できる教職員

5. 今年度の重点課題

『夢現プロジェクトの実践』

「授業改革」を柱として、「授業研究体制の確立」、「観点で見た柔軟で妥当な評価方法の選択」、「基盤」生徒指導三機能を軸とした“つながり”の構築、「生徒による学びの集団づくり」、「保護者によるアプローチ」に取り組む。各教科の授業改革を推進するにあたり、本校の目指す授業ビジョンをすべての教員が共有し、仮説→実践→検証のスマートサイクルを日々の授業の中で廻すことが大切である。そのために、定例で月一回全教職員で検証するような公開授業研究日の実施等の授業研究体制が重要となる。また、授業を変えることと併せて、より観点に沿った柔軟で妥当な評価方法の選択が求められる。1人の子どもの学びを観点ごとに多面的に妥当な方法で見取り、評価する研究を進めたい。

また、様々な課題を抱える生徒は少なくない。ゆえに、上記の取組の基盤となる一人ひとりの生徒の環境を整える為に、生徒指導の三機能を軸とした“つながり”の構築（複数担任制の導入等）に取り組む。さらに、生徒による学びの集団づくり、保護者によるアプローチも取り組むことで、改善を繰り返しながら将来的にも持続可能な改革したい。

特に学力向上に特化した取組となる「授業改革」、「授業研究体制の確立」、「観点で見た柔軟で妥当な評価方法の選択」、「家庭学習の充実」については、京都市立向島東中学校学力向上プランとして、夢現プロジェクトと研究部が連携して取り組む。研究部では、「誰一人取り残すことのない『個別最適な学び』と『協働的な学び』」を研究主題として、ICT機器の活用や家庭学習についても夢現プロジェクトと連動させて取組を進める。